

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
こどもの生活と環境 I		(講義・演習・実習)		青田 由美子	保育士
授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	必修・選択		
15 回	30 時間 (1 単位)	1 年・後期	必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針の領域「環境」の意図しているねらいや内容をふまえ、事例を通して子どもにとっての環境の意味を理解し、子どもの生活や経験に結びついた保育を考えていく力を育む。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活のさまざまな場面で、子どもがかかわる人的環境、物的環境、自然環境について、様々な事例を通して学習する。受動的学習ではなく、ワークショップ、ディベートなどを取り入れ、学生自身が主体性をもって学ぶことができるようにする。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針の領域「環境」の意図しているねらいや内容を理解する。 ・ 子どもにとっての環境の意味を理解する。 					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション／第1章 保育と「環境」／第2章 領域「環境」とは 2. 第3章 子どもの育ちと領域「環境」／第4章 子どもを取り巻く人的環境① 3. 第4章 子どもを取り巻く人的環境② 4. 第5章 子どもを取り巻く物的環境① 5. 第5章 子どもを取り巻く物的環境② 6. 第6章 子どもを取り巻く社会的環境 7. 第7章 子どもを取り巻く自然環境① 8. 第7章 子どもを取り巻く自然環境② 9. 第8章 子どもの生きる力を育む環境① 10. 第8章 子どもの生きる力を育む環境② 11. 第9章 子どもを守り育てる環境 12. 第10章 気になる子どもと環境 13. 第11章 環境を通じた教育・保育の現在の課題 14. まとめ 15. 期末試験 					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針 ・ 保育内容「環境」あなたならどうしますか？ 萌文書林 ・ 事例で学ぶ保育内容 環境 萌文書林 					
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点(75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 					